

人間関係学部 人間文化学科

講師名

講義テーマ及び内容

テーマNo.

教授

入江 公啓 (英語英米文化コース)
IRIE, Kimihiro

紅茶の楽しみ

紅茶の基礎知識、紅茶にまつわる文化、歴史を説明した後、伝統的な紅茶の淹れ方を実演します。香り高く、美味しい紅茶を楽しんでいただきます。

テーマNo.

No201

教授

入佐 信宏 (日本語日本文学コース)
IRISA, Nobuhiro

韓国語を学ぼう

韓国語は日本語と文法が似ていて、日本人には大変学びやすい言語です。講義では韓国語の基本的な文字と発音、簡単なあいさつや自己紹介の方法をわかりやすく説明します。

テーマNo.

No202

講師

鏑 武彦 (日本語日本文学コース)
KAZARI, Takehiko

『百人一首』の世界

皆さんにもおなじみの『百人一首』。藤原定家は、どのようにしてこの百首を選んだのでしょうか。さらには、各歌の味わい方など、知っているようであまり知らない『百人一首』について、いろいろな視点から講義します。

テーマNo.

No203

准教授

勝田 順子 (日本語日本文学コース)
KATSUDA, Junko

日本人が気づいていない日本語の規則

ー外国人に対する日本語教育からわかることー

外国人の多くが不得意な「つ」の音の作り方、助詞「は」「が」の使い分け、「歌って」「食べて」「飛んで」のような動詞連用形の作り方の規則など、外国人に教えてみてはじめてわかる日本語の諸規則を紹介します。

テーマNo.

No204

教授

蒲地 賢一郎 (英語英米文化コース)
KAMACHI, Kenichiro

ことばの「意味の意味」

「ことばの意味」は何ですかと問われると、いくらか想像するところがあると思います。では、「ことばの意味の意味」は何ですかと聞かれたら、戸惑うのではないのでしょうか。「意味の意味」ということについて、考えてみましょう。

テーマNo.

No205

講師

白田 理人 (日本語日本文学コース)
SHIRATA, Rihito

鹿児島のことば、世界のことば

鹿児島県で話されていることばには、どのような特徴があるのでしょうか。言語のタイプ分けをする言語類型論の視点から、鹿児島県内のことばと世界のさまざまな言語の間の類似点・相違点について考えていきます。

テーマNo.

No206

准教授

宗 建郎 (歴史地理コース)
SOH, Tatsuro

地域を知るー地域活性化と観光ー

今、日本各地で地域活性化が課題となっていますが、そもそも地域活性化とはどういうことでしょうか。ゆるキャラ？グルメ？SNS？地域を活性化させるためには、まず地域を知ることが必要なのです。

人間関係学部 人間文化学科

講師名

講義テーマ及び内容

テーマNo.

No208

講師

高根 広大 (英語英米文化コース)
TAKANE, Kodai

シェイクスピアの作品を身近に感じよう

文学というと、とっつきにくい、自分とは関係ないもの、とっていませんか。文学という非日常は、私たちの日常を見つめる上で、常に私たちの日常にあるものなのです。シェイクスピアの作品の味わい方を紹介します。

テーマNo.

No209

教授

茶谷 誠一 (歴史地理コース)
CHADANI, Seiichi

令和改元からみる天皇制

2019年4月をもって当時の明仁天皇が退位し、翌5月1日に皇太子の徳仁天皇が即位しました。それにより、元号も平成から令和へと改まりました。近世まで当たり前だった譲位や女帝がなぜ明治時代に退けられ、今もそのままなのか？ 歴史学の視点から解説します。

テーマNo.

No210

講師

西川 ゆみ (日本語日本文学コース)
NISHIKAWA, Yumi

中国古典の歌の世界

昔の中国の人たちの「歌」にふれてみませんか？漢文の授業で多く読む詩人たちの詩ではなく、民間で歌われていた歌謡作品を取り上げて、中国古代の人たちのユーモア・恋愛・生活について紹介し、名もなき昔の人たちの「思い」を読み解いていきます。

テーマNo.

No211

教授

原口 泉 (歴史地理コース)
HARAGUCHI, Izumi

薩摩から見た世界史の潮流

明治維新とはどのような社会変革であったのかを、史料に基づいて論じます。薩摩を視座にすえて人類と感染症の歴史を振り返り、持続可能な社会を展望します。

テーマNo.

No212

准教授

マークス・シオボールド (英語英米文化コース)
Marcus Theobald

Writing haiku in English

How to write a haiku in English. Syllable counting and original compositions produced in class.

テーマNo.

No213

准教授

三浦 卓 (日本語日本文学コース)
MIURA, Taku

「語り手」で小説を読むために

小説を読む時、「作者の意図」を考えたり登場人物に「感情移入」したりというのが一般的ですが、「語り手」という考え方をを用いて読んでみると別の世界が見えてきます。近代文学を題材に「語り手」について考えます。

テーマNo.

No214

教授

横山 政子 (歴史地理コース)
YOKOYAMA, Masako

中国語を話してみよう

今年度のNHK「テレビで中国語」では、稲葉友さんが一年間中国語を学びます。みなさんも中国語を話してみませんか。